

令和3年12月22日

上島町長 上村 俊之 様

上島町公共施設あり方検討協議会

上島町公共施設あり方検討協議会の協議結果について（報告）

令和3年12月22日に開催した上島町公共施設あり方検討協議会において、下記のとおり意見がありましたので報告いたします。

記

1. 火葬場のあり方について

【担当課の方針】

やすらぎ苑に機能集約し、弓削斎場は閉鎖、天翔苑は災害、やすらぎ苑の設備が故障等した際に使用できるように必要最低限の維持管理を行う。
時期については、早期と考えているが、やすらぎ苑の増炉等と併せて検討していく。

【協議会の意見】

- ・概ね、担当課の方針が妥当との意見であるが、住民への説明会を開き、理解を得る必要がある。
- ・増炉等の場合には、岩城橋の通行に影響が出ないように検討を行う必要がある。
- ・現状施設を維持する場合と、集約する場合の経費の比較資料の提出を要望する。

2. 港務所のあり方について

【担当課の方針】

弓削港務所については、弓削高校や弓削商船の生徒が多く利用していることから存続を図る。

立石港務所については、岩城橋開通により更に利用増加が見込まれるため存続を図る。

生名港務所についても、定期船利用者が一定数おり、2階会議所は、漁協岩城・生名支所が使用しているため存続を検討している。

【協議会の意見】

- ・岩城橋開通後、立石港駐車場が溢れることを懸念している。
- ・生名港務所については、2階は殆ど使用していない。また、建屋も老朽化しているため、耐用年数を経過しているのであれば、コンパクトに建替えが良いのではないか。
- ・芸予汽船との調整も必要になるが、快速船を立石港に寄港するようにすることで生名港を廃止することも可能ではないか。

3. C A T V局舎のあり方について

【担当課の方針】

町の情報発信拠点施設であり、代替施設もないことから存続とする。

【協議会の意見】

- ・駐車場が一台分しかなく、急なため、弓削浄化センター駐車場等へ駐車できるようにした方が良いのではないか。

4. バス車庫のあり方について

【担当課の方針】

バス車両の維持管理に必要な施設のため、存続とする。

一般の利用はなく、バス事業専用の施設のため、随時必要最小限の修繕対応を行い、建替え時期の検討を行う。

【協議会の意見】

- ・弓削又は生名に弓削のバス車庫と岩城のバス車庫を統合したバス車庫を整備することも検討する必要があるのではないか。
- ・立石港が主要港となるため、生名にバス車庫を整備して、生名を拠点したバス編成を検討してみてはどうか。

5. 弓削中央公民館のあり方について

【担当課の方針】

耐震基準に対応しておらず、老朽化も進んでいるため、令和4年度から利用を中止し、廃止又は取り壊しとする。

代替施設として、既存施設のせとうち交流館、又は生名発総合センターの活用を検討している。

【協議会の意見】

- ・既存の公民館は、職員等も不在で公民館としての利用ができていない。

代替施設に集約するのであれば、職員等を常駐させ、施錠開錠が常にできる施設とすれば、利用も促進されるのではないか。

- 代替施設を活用する際は、目的外使用の条件をクリアする必要があるが、複合施設として認定を得ることで、可能なのではないか。
- 倉庫をバス車庫に移し、跡地に弓削、岩城を統合したバス車庫を建設してはどうか。